

道徳学習指導案

指導者名 森脇 雅志

- 1 学年 第2学年 2組
- 2 主題名 学校の伝統を引き継ぐ大切さ
C—(15) 「よりよい学校生活」
- 3 ねらい 隆弘の心の変化を考えることを通して、よりよい校風や伝統を樹立しようとする道徳的心情を養う。
- 4 教材名 「伝統で終わることなく伝説に」
(出典：『中学生の道徳 2年 かけがえのないきみだから』 学研)

5 主題設定の理由

- 生徒にとって学校は、生活の大半を過ごす大切な場である。学校は、自分の役割と責任を果たすことと同時に、教師や仲間と関わり、支えたり支えられたりしながら人間関係を深め、学んでいく場である。その中で、周りへの尊敬や感謝の気持ちが育まれ、心の成長へとつながっていく。生徒の生活の場である学校には、独自の校風がある。これは、今いる生徒だけで作りあげたものではなく、これまでの先輩や保護者、地域の方々の長年の努力によって培われたものであり、この伝統を継承し、さらに発展させ、よりよい校風づくりをしていくことが大切である。

しかし、近年のインターネットやSNSの普及、核家族化や地域とのつながりの希薄化等により、生徒の学校や地域への所属意識が低下していると考えられる。そのため、「校風」や「伝統」に対しても、関心が低くなっている。これから部活動や生徒会活動などで学校の中心となって活動していく2年生にとって、自校の校風や伝統を意識し生活することは大切であると考えられる。そのためにも学校の一員としての自覚をもち、協力してよりよい校風をつくっていくようとする心情を養いたいと考え、本主題を設定した。

- <個人情報保護のため省略>

- この教材の内容は、次のとおりである。隆弘の所属する陸上部は、練習前に必ず校舎の玄関や自分たちの使うランニングロード等の掃除をする。その意味を理解していない隆弘が、友達の裕貴との会話や校長先生からの励ましなどをきっかけに、伝統となっている「場を清める」ことの大切さを理解する。学校を大切にする気持ちをさらに一歩進め、伝説にしようと思案する教材である。

本教材は、主人公の心の変容を追うことで、男衾中学校の伝統を受け継ぎ、よりよい校風をつくろうとする気持ちをもつこと、学校の一員として自覚をもって生活することの素晴らしさを感じられる教材である。

初めに、川音先生の「場を清める」という言葉に反発する隆弘の気持ちを考えさせたい。その後、全国大会で仲間や先生、PTAの方々の応援を聞くなかで、周りに支えられていることを感じ、それが男衾中のよさであることに気付いた隆弘のよさについて考えさせたい。その中で、隆弘の変化から気がついたことや学んだことについて、3、4人のグループで意見交換を行い、他の人の意見に共感したり、自分とは違う考えに触れたりする中で、隆弘の気持ちやその変化についてじっくりと考えさせたい。そして、これから生徒会活動等で学校の中心となつての活動が始まるこの時期に、本校のよさに気づき、よりよい校風をつくろうとする心情を高めたい。

6 学習指導過程

	学習活動	発問□ 及び予想される反応（・）	指導上の留意点
導 入	・ 伝統とは何かを考える。		・ 主題に対する生徒の興味や関心を高める。
展 開	・ 課題を確認する。	<主題追求課題> 学校の伝統や校風について考えよう。	
	・ 資料を読み、あらすじを確認する。 ・ 個人で考え、自分の考えを発表する。	隆弘は、「場を清める」ことについて、どう思っていただろう。 ・ 練習に関係ない。 ・ 練習時間がなくなり、むしろマイナス。 ・ なぜするのか、わからない。	・ 生徒が共感した発言ができるような雰囲気をつくり、率直な感想や発言を促す。
	・ 個人で考え、自分の考えを発表する。	隆弘は、裕貴のレース後、どんなことを考えていたのだろう。 ・ 大切なことは、成績の結果だけではないということ。 ・ 男衾中全体が一つになって応援していて気持ちがよかった。 ・ これが男衾中の伝統だと思った。 ・ 伝統を引き継いでいこうとするところ。	・ 男衾中の大切にしていることや伝統に気づき始めた隆弘の気持ちを考えさせる。
・ 個人で考える。 ・ グループで交流する ・ 全体で意見交換をする。	隆弘のよいところはどんなところだろうか。 ・ 伝統を引き継ぐことの大切さに気づいたところ。 ・ 清掃の意味を考えて、取り組めるところ。 ・ 選手ではないのに、応援に感謝できるところ。 ・ 地域や PTA の方々に応援されるような行動をとっていこうと考えを改められるところ。	・ 中心発問になるので、時間をかけて考えさせる。 ・ グループ交流することで様々な価値観に触れさせたい。	

展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考える ・グループで交流する ・全体で意見交換をする。 	<p>あなたが、先輩から引き継ぎたいもの、後輩に伝えていきたいものは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが協力できるところ。 ・みんなが部活動に熱心に取り組んでいるところ。 ・文化祭や体育祭で盛り上がる場所。 ・地域の方々が協力してくれ、いろいろな行事があるところ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隆弘の体験を通して、自分がこれからどんなことを大切にしていけるかを考えさせる。
終 末	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩からのビデオレターを見る。 ・振り返りシートを記入する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・先輩方からのビデオレターを見て過去の伝統と今の一中について考えさせる。 ・「主題追求課題」を通して、この時間に考えたこと、学んだことについて自分と向き合わせる。

7 評価

隆弘の心の変化から校風や伝統を樹立することの大切さを自分のこととして考えることができたか。

8 板書計画

<p>主題追求課題「学校の伝統や校風について考えよう。」</p>	
<p>裕貴・・・陸上で全国大会出場 隆弘・・・主人公 裕貴とともに行動</p>	
<p>○隆弘は「場を清める」ことについて、どう思っていたらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習に関係ない。 ・練習時間がなくなり、むしろマイナス。 ・なぜするのか、わからない。 	<p>○隆弘のよいところは、どんなところだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統を引き継ぐ大切さに気づいたところ。 ・清掃の意味を考えて、取り組めるところ。 ・選手ではないのに、応援に感謝できる場所。
<p>○隆弘は裕貴のレース後、どんなことを考えたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切なことは成績の結果だけではない。 ・男衾中全体が一つになって応援していて気持ちがよかった。 ・これが男衾中の伝統だと思った。 	<p>○あなたが、先輩から引き継ぎたいもの、後輩に伝えていきたいものは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが協力できる場所。 ・みんなが部活動に熱心に取り組んでいる場所。 ・文化祭や体育祭で盛り上がる場所。 ・いろいろな人がいる場所。 ・地域の方々が協力してくれるいろいろな行事がある場所。

9 教材分析

主題名	学校の伝統を引き継ぐ大切さ	教材名	「伝統で終わることなく伝説に」	
ねらい	隆弘の心の変化を考えることを通して、よりよい校風や伝統を樹立しようとする道徳的心情を養う。			
主要場面	隆弘の心の動き	道徳的 価値等	気付かせたいこと	主な発問
・陸上の練習を始める前に行う「場を清める」ことについて、川音先生に聞く。	・なぜ玄関を掃除しなければならないのかわからない。 ・スピードをつけるトレーニングをする方が効果的だ。	不信感 利己的	・川音先生の「場を清める」ことについて説明を聞いても一面的な捉えしかできていない。	・隆弘は「場を清める」ことについてどう思っていたらう。
・全国大会当日裕貴のレース直前	・自分たちのために多くの方が支えてくださったことが思い出され、裕貴くんには頑張してほしいという気持ちの方がより強くなっている。	友情 羨望	・裕貴のレースに向けて多くの人がいろいろな形で支えていること。	
・全国大会当日裕貴のレース直後	・自分自身も全力で応援したのでやりきった充実感でいっぱい。 ・成績の善し悪しではないと感じる。	充実感 価値観の変容	・成績の善し悪しではなく、男倉中学校全体が一つになって応援していたこと。	・隆弘は裕貴のレースを見終わった後どんなことを考えていたらうか。
・学校の玄関を掃除している中で、校長先生の話聞く。	・校長先生からほめられてうれしい。 ・そうか、そうだったのか・・・。	感動 公德心	・校長先生からほめられたことで「場を清める」ことの意味や伝統を着実に受け継ぐことの重要性に気付き始めている。	
・顧問の川音先生の号令で、いつもどおりの練習が始まった。	・ぼくたちをあたたく見守ってくれる学校を大切にしたい。 ・男倉中学校の伝統を確実についでいきたい。	よりよい学校生活、集団生活の充実	・明らかに練習に取り組む姿勢が変わってきている。 ・多面的・多角的な捉えができるようになってきている。	・隆弘のよいところはどんなところだろうか。 ・あなたが先輩から引き継いだもの、後輩に伝えていきたいものは何ですか。